



### 【秋の穂】

鳥取空港そばの農場で見かけた風景です。

ふさふさの穂が日に照らされ、背景の青空の色と合わせ、秋を象徴するようでした。

(撮影日:2013/09/16,  
EOS7D+EF-S17-85mmF4-5.6IS  
USM で撮影)

撮影者：三須幸一郎(知財部門長)

## 11月の特許相談会

※今月は鳥取地区のみで開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

### 【鳥取地区】

相談員：滝本智之弁理士（電気・機械関係他）  
日 時：11月8日（金）13：30より  
場 所：産学・地域連携推進機構2階 会議室

相談員：富田憲史弁理士（医獣・バイオ関係他）  
日 時：11月6日（水）13：30より  
場 所：産学・地域連携推進機構2階 会議室

### 【目 次】

11月の特許相談会	1
【報 告】Bio Japan 2013 開催	2
【お知らせ】論文の発表前に出願をお願いします！	3
ひとつこと用語集「先行技術調査」とは	4
【報 告】特許相談会・発明審査委員会の件数	

# Bio Japan 2013 開催報告



- 日 時：平成25年10月9日（水）～11日（金） 10:00～17:00
- 場 所：パシフィコ横浜
- 主 催：BioJapan 組織委員会

## 概要

バイオビジネスにおけるアジア最大のパートナーリングイベントであるバイोजパン2013がパシフィコ横浜で開催されました。

本学からは、医学部の三浦先生によるプレゼン発表およびブース展示を行いました。会期中130名を超える来場者がブースを訪れ、当該技術の内容を説明致しました。数社とは、今後の共同研究の検討や共同でのプロジェクト申請など、具体的なマッチングに発展いたしました。



鳥取大学ブース

マッチング対象特許・・・発明者：三浦 典正、出願人：国立大学法人鳥取大学



1. 「hTERT 発現調節遺伝子」：出願国（日本、米国、欧州）
2. 「siRNA 導入による新規 hiPSC 作製法」：出願国（日本、米国、欧州）
3. 「miRNA 導入による新規 hiPSC 作製法」：出願国（日本、米国、欧州）
4. 「新規の脱分化誘導方法を用いた多能性幹細胞化」：国際出願中

## 来場者数

来場者数	9日（水）	3,908
	10日（木）	4,294
	11日（金）	4,284
	3日間 合計	12,487



## プレゼンテーション

発表者	三浦 典正准教授
発表時間	9日 13:30～14:00
テーマ	癌の正常細胞化を誘導する 活性分子の生体応用
聴講者数	35

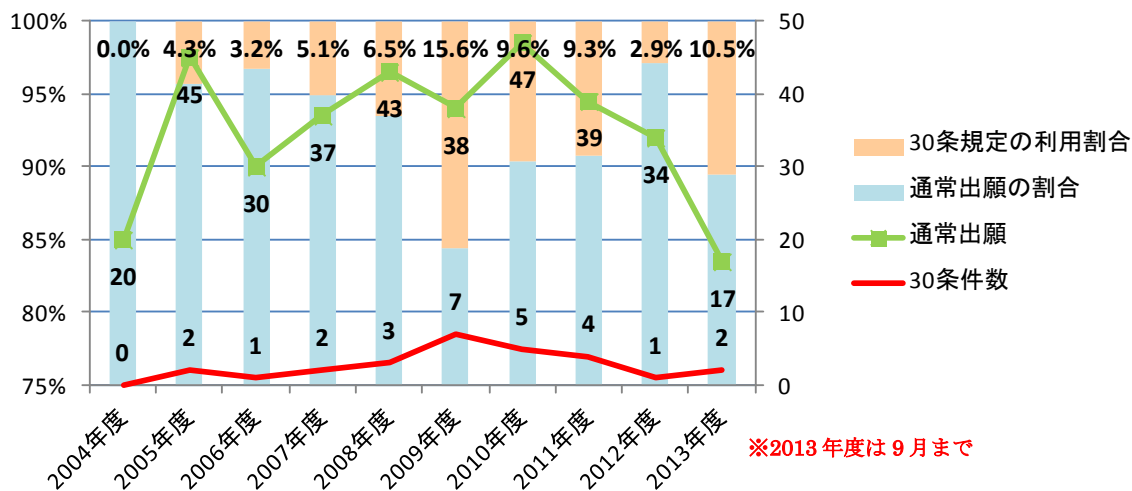


# 卒論や修論に係わる特許案件は早めに出願を！

毎年12月から翌年3月上旬にかけて、各部局において卒論や修論の発表会が公開性で実施される場合も多いと思われます。この「公開」に注意が必要です。

各部局における当該担当の先生は必ず読んでください。

## 本学の状況…「発明の新規性喪失の例外規定」（30条）の適用は減少傾向にあります。



### 注意 1

### 論文発表前に必ず出願

発表内容には、成果として特許等に出願すべき内容が含まれている場合があります。公開された時点で、発表内容は「公知の事実」となり、新規性を欠くものとして、出願が不可能となります。（特許法第29条第1項）

### 注意 2

### 例外規定を受けた特許は権利が弱い。 やっぱり発表前に必ず特許出願!!



「発明の新規性喪失の例外規定」には注意が必要です！！



公開時から6ヶ月を超える場合には規定が適用できないことと  
この例外規定に次の制約があります。

特許法第30条（発明の新規性喪失の例外）の制約	
①	この例外規定を適用されても、大学での発表後、同一技術が第三者によって公表されれば、特許が受けられない
②	第三者が先に出願すれば、先願主義により第三者が優先し、本学からの出願が拒絶される場合がある
③	日本、米国等一部の国を除き、欧州をはじめほとんどの国では、この例外規定の適用がない

知的財産管理運用部門では可能な限り、  
「発表前に必ず特許出願」をして頂く方針を採っています。



何か不明な点があれば、  
今すぐ知的財産管理運用部門へ連絡を!!



# ひとこと用語集

## 先行技術調査



一般的に特許調査を行う必要性は、i) 特許の質を向上させる目的で先行技術調査をすること、ii) 開発の効率や他者(社)権利の侵害予防を目的として開発前調査を行うことです。特に出願前に先行技術調査を十分に行うことで、発明の権利化や出願後の活用に対して戦略的な対策を図ることができます。先行技術調査を行うツールは幾つかありますが、インターネットを使用した特許電子図書館\*(IPDL: <http://www.ipdl.inpit.go.jp/homepg.ipdl>)で類似特許の検索を無料で実施することが可能です。また、知財部門では、IPDLの使用法に関する相談や、研究着想段階における先行技術調査等を実施し、研究方針の策定やより産業上有益な発明の創出に向けて支援しています。

参考：独立行政法人 工業所有権情報・研修館

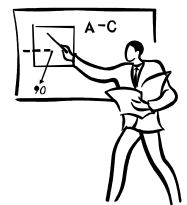
### 10月の件数

知財部門による特許相談件数・・・7件

### 定例特許相談会の件数

滝本智之 弁理士(電機・機械関係他)・・・1件

富田憲史 弁理士(医獣・バイオ関係他)・・・3件



発明審査委員会の件数・・・5件

\*\*\*刊行物\*\*\*  
知財部門ニュース  
み・ん・なのニュース 11月号  
<80号> (通番109号)  
2013年11月1日発行  
編集・著作：  
知的財産管理運用部門  
発行：鳥取大学  
産学・地域連携推進機構

#### \*\*\* 編集後記 \*\*\*

11月に入り、今年もあと2ヶ月となりました。10月は台風が多く、異常な天候が続きましたね。だんだんと寒くなってきました。風邪をひかないように気をつけましょう！

#### \*\*\* 特許等の相談 \*\*\*

相談員：三須 幸一郎(部門長・教授) TEL: 0857-31-6000(直通)  
(又は内線2765)

山岸 大輔(副部門長・助教) TEL: 0857-31-6094(直通)  
(又は内線4072)

場 所：産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門  
E-mail アドレス：[chizai@adm.tottori-u.ac.jp](mailto:chizai@adm.tottori-u.ac.jp)  
FAX 専用：0857-31-5474 (又は内線2771)

産学・地域連携推進機構 HP：<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>